



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

筑後川下流右岸農地防災事業
施工技術検討業務

積 算 書

(当初)

九州農政局
筑後川下流右岸農地防災事業所

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	施工技術検討業務

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接人件費				1,719,000	
・直接人件費	1.000	式		1,719,000	
・・直接人件費 I.資料の検討	1.000	式		122,000	
・・・I.資料の検討	1.000	式	122,000	122,000	1式当たり
S63003 資料の検討 0.00人,0.00人,0.50人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人	1.000	式	122,250	122,250	歩A・単A S単 1号
合 計				122,250	
・・直接人件費 II.課題分析(工事実施に伴う振動伝達の調査・検討)	1.000	式		527,000	
・・・II-3.試験結果の分析・評価	1.000	式	527,000	527,000	1式当たり
S63003 II-3-1.試験結果の整理・取りまとめ 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,3.00人,3.00人,3.00人	1.000	式	527,350	527,350	歩A・単A S単 2号
合 計				527,350	
・・直接人件費 II.課題分析(水質調査)	1.000	式		453,000	
・・・II-2-2.影響評価	1.000	式	453,000	453,000	1式当たり
S63003 II-2-2.影響評価 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人,0.00人	1.000	式	452,500	452,500	歩A・単A S単 3号
合 計				452,500	
・・直接人件費 III.点検とりまとめ	1.000	式		343,000	
・・・III-1.点検とりまとめ	1.000	式	343,000	343,000	1式当たり
S63003 III-1.点検とりまとめ 0.00人,0.00人,0.50人,1.00人,2.00人,2.00人,2.00人	1.000	式	342,850	342,850	歩A・単A S単 4号
合 計				342,850	
・・直接人件費 打合せ(設計)	1.000	式		274,000	
・・・打合せ(設計)	1.000	式	274,000	274,000	1式当たり
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日	2.000	回	96,140	192,280	歩A・単A S単 5号
S63010 打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.26日	1.000	回	82,156	82,156	歩A・単A S単 6号
合 計				274,436	

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S63003	資料の検討		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	0.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	1.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04005	技師(B)	1.000	人	48,500	48,500	
R04006	技師(C)	1.000	人	40,300	40,300	
	合 計				122,250	算出数量 1.000 式
	単 価		式		122,250	
*** S単-2号 ***						
S63003	II-3-1. 試験結果の整理・取りまとめ		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,2.00人,3.00人,3.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	3.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
R04007	技術員	3.000	人	36,100	108,300	
	合 計				527,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		527,350	
*** S単-3号 ***						
S63003	II-2-2. 影響評価		式		1.000	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,1.00人,2.00人,3.00人,3.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	2.00人				
	5)技師Bの人数	3.00人				
	6)技師Cの人数	3.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師	1.000	人	66,900	66,900	
R04004	技師(A)	2.000	人	59,600	119,200	
R04005	技師(B)	3.000	人	48,500	145,500	
R04006	技師(C)	3.000	人	40,300	120,900	
	合 計				452,500	算出数量 1.000 式
	単 価		式		452,500	
*** S単-4号 ***						

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S63003	Ⅲ-1. 点検とりまとめ		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	設計労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,0.50人,1.00人,2.00人,2.00人,2.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数	0.50人		深夜時間:0.0		
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	2.00人				
	6)技師Cの人数	2.00人				
	7)技術員の人数	2.00人				
R04003	主任技師	0.500	人	66,900	33,450	
R04004	技師(A)	1.000	人	59,600	59,600	
R04005	技師(B)	2.000	人	48,500	97,000	
R04006	技師(C)	2.000	人	40,300	80,600	
R04007	技術員	2.000	人	36,100	72,200	
	合計				342,850	算出数量 1.000 式
	単価		式		342,850	
	*** S単-5号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.26日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	着手前・最終		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	1.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.260日				
R04003	主任技師	0.760	人	66,900	50,844	
R04004	技師(A)	0.760	人	59,600	45,296	
	合計				96,140	算出数量 1.000 回
	単価		回		96,140	
	*** S単-6号 ***					
S63010	打合せ(設計業務基準日額)		回		1.000 回	歩A 当たり算出
	打合せ(設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.26日			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)設計工種	一般工種		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)打合せ	中間		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)設計用主任技師人数	0.00人		深夜時間:0.0		
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	1.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.260日				
R04004	技師(A)	0.760	人	59,600	45,296	
R04005	技師(B)	0.760	人	48,500	36,860	
	合計				82,156	算出数量 1.000 回
	単価		回		82,156	
	*** S単-7号 ***					
S63023	電子納品版業務報告書作成		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	電子納品版業務報告書作成 1,A-4,200,5cm,0			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)報告書部数(部)	1.000		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格区分	A-4		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	施工技術検討業務

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	*** S単-1号 *** 測量技師					
	測量技師		人	52,300		歩A・単A
S02115	*** S単-2号 *** 測量技師補					
	測量技師補		人	41,100		歩A・単A
S02115	*** S単-3号 *** 測量助手					
	測量助手		人	34,900		歩A・単A
S16001	*** S単-4号 *** ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]					
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 、乗車定員5名 排気量1.5L、運転1日当たり算出、機械損料等のみ、		日	2,620		歩A・単A
S63005	*** S単-5号 *** II-1-2.振動調査実施計画書					
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人,1.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	128,300		歩A・単A
S63005	*** S単-6号 *** II-2-1.現地準備					
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	209,400		歩A・単A
S63008	*** S単-7号 *** II-1-1.現地調査					
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人,1.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	128,300		歩A・単A
S63008	*** S単-8号 *** II-2-2.現地測定					
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人,0.00人,1.00人,5.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人		式	215,600		歩A・単A
X63002	*** X単-1号 *** 精度管理費集計					
	精度管理費集計		式	0		歩A・単A
X63004	*** X単-2号 *** 旅費交通費(振動調査_現地調査)					
	旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン,1日,2時間		式	5,408		歩A・単A
X63004	*** X単-3号 *** 旅費交通費(振動調査_現地調査)					
	旅費交通費(測量外業日帰用) ライトバン,1日,2時間		式	5,408		歩A・単A
T00001	*** T単-1号 *** 旅費交通費(水質調査)					
			式	8,377		歩A・単A
T00002	*** T単-2号 *** 水質測定					
			回	256,600		歩A・単A

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単-1号 ***						
S02115	測量技師		人		1,000	歩A 当たり算出
	測量技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04023 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04023	測量技師	1.000	人	52,300	52,300	
	合計				52,300	算出数量 1,000 人
	単価				52,300	
*** S単-2号 ***						
S02115	測量技師補		人		1,000	歩A 当たり算出
	測量技師補			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04024 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04024	測量技師補	1.000	人	41,100	41,100	
	合計				41,100	算出数量 1,000 人
	単価				41,100	
*** S単-3号 ***						
S02115	測量助手		人		1,000	歩A 当たり算出
	測量助手			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04025 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
R04025	測量助手	1.000	人	34,900	34,900	
	合計				34,900	算出数量 1,000 人
	単価				34,900	
*** S単-4号 ***						
S16001	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L 運転1日当たり算出, 機械損料等のみ,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 機械コード<<単位が時間のみ>> 2) 機械コード(同上)	M28121 M28121		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 機械損料算出区分 4) 運転1日当たり運転時間(T)	運転1日当たり算出 7.0時間				
	5) 運転日に対する供用日の割合(YC)	1.19				
	6) 単価計上区分	機械損料等のみ				
	7) 岩石補正区分 10) 燃料消費量(入力の場合)	岩石補正なし 0.0				
	11) 消耗部品の計上の有無 13) 消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品を計上しない 消耗部品なし				
	14) 名称(消耗部品) 15) 規格(消耗部品)	- -				
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	2,620	2,620	
	合計				2,620	算出数量 1,000 各単位
	単価		各単位		2,620	
Y00001	単位					
*** S単-5号 ***						
S63005	II-1-2. 振動調査実施計画書		式		1,000 式	歩A 当たり算出

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人,1.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数 5)補助員の人数 6)操縦士の人数 7)整備士の人数 8)撮影士の人数 9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 1.00人 1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
R04023	測量技師	1.000	人	52,300	52,300	
R04024	測量技師補	1.000	人	41,100	41,100	
R04025	測量助手	1.000	人	34,900	34,900	
	合計				128,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		128,300	
	*** S単-6号 ***					
S63005	II-2-1.現地準備		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費内業) 0.00人,0.00人,3.00人,0.00人,3.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数 5)補助員の人数 6)操縦士の人数 7)整備士の人数 8)撮影士の人数 9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 0.00人 3.00人 0.00人 3.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
R04024	測量技師補	3.000	人	41,100	123,300	
R04032	測量補助員	3.000	人	28,700	86,100	
	合計				209,400	算出数量 1.000 式
	単価		式		209,400	
	*** S単-7号 ***					
S63008	II-1-1.現地調査		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	測量労務(直接人件費外業) 0.00人,1.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人,0.00人			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)主任技師の人数 2)技師の人数 3)技師補の人数 4)助手の人数 5)補助員の人数 6)操縦士の人数 7)整備士の人数 8)撮影士の人数 9)撮影助手の人数 10)測量船操縦士の人数	0.00人 1.00人 1.00人 1.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人 0.00人		深夜時間:0.0		
R04023	測量技師 外業	1.000	人	52,300	52,300	
R04024	測量技師補 外業	1.000	人	41,100	41,100	
R04025	測量助手 外業	1.000	人	34,900	34,900	
	合計				128,300	算出数量 1.000 式
	単価		式		128,300	
	*** S単-8号 ***					

事業名	筑後川下流右岸農地防災事業
業務名	施工技術検討業務

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** X単-1号 ***					
X63002	精度管理費集計		式		1.000	歩A 当たり算出
	精度管理費集計			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)精度管理費(自動集計)	0.000		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
P53024	精度管理費	1.000	式	0	0	
	合計				0	算出数量 1.000 式
	単価				0	
	*** X単-2号 ***					
X63004	旅費交通費(振動調査_現地調査)		式		1.000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(測量外業日雇用) ライトバン,1日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)高速道路往復料金(税別)	2,964円		深夜時間:0.0		
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数	1日				
	8)時間区分	2時間				
	9)測量技師外業日数	1.000日				
	10)測量技師補外業日数	6.000日				
	11)測量助手外業日数	26.000日				
	12)測量補助員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	2,964	2,964	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	147	794	
	合計				5,408	算出数量 1.000 式
	単価		式		5,408	
	*** X単-3号 ***					
X63004	旅費交通費(振動調査_現地調査)		式		1.000	歩A 当たり算出
	旅費交通費(測量外業日雇用) ライトバン,1日,2時間			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)交通機関区分	ライトバン		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	2)高速道路往復料金(税別)	2,964円		深夜時間:0.0		
	3)鉄道往復1人当料金(税別)	0円				
	4)バス往復1人当料金(税別)	0円				
	5)船舶往復1人当料金(税別)	0円				
	6)航空往復1人当料金(税別)	0円				
	7)ライトバン使用日数	1日				
	8)時間区分	2時間				
	9)測量技師外業日数	1.000日				
	10)測量技師補外業日数	6.000日				
	11)測量助手外業日数	26.000日				
	12)測量補助員外業日数	0.000日				
P54301	高速道路等料金					
	消費税抜き	1.000	式	2,964	2,964	
M28121	ライトバン[ガソリンエンジン・二輪駆動] 乗車定員5名 排気量1.5L	1.000	日	1,650	1,650	
P34001	ガソリン JIS2号 レギュラースタンド	5.400	L	147	794	
	合計				5,408	算出数量 1.000 式
	単価		式		5,408	

令和7年度 筑後川下流右岸農地防災事業
施工技術検討業務

特別仕様書

九州農政局

筑後川下流右岸農地防災事業所

第1章 総則

(適用範囲)

第1-1条

令和7年度筑後川下流右岸農地防災事業施工技術検討業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「設計業務共通仕様書」によるほか、同共通仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

第1-2条

本業務は、国営筑後川下流右岸農地防災事業に基づくクレーク改修の実施に伴う影響を調査、評価して課題の解決を図るものである。

(場所)

第1-3条

本業務において対象とする地域は、佐賀県佐賀市、神崎市、神埼郡吉野ヶ里町、三養基郡みやき町地内で、別添図1の業務位置図に示すとおりである。

(一般事項)

第1-4条

業務請負契約書及び各共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 作業実施のための土地立入り等は、設計業務共通仕様書第1-16条によるが、土地の踏み荒らし、立木伐採等に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。
なお、現地立入りにあたっては、監督職員と連絡を取った後、作業に着手するものとする。
- (2) 受注者は常に業務内容を把握し、業務期間中であっても監督職員が資料の提出を求めたときは、速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1-5条

- (1) 管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-6条第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択項目は次のとおりである。

資格	技術部門	選択科目
技術士	総合管理部門	農業－農業土木 農業－農業農村工学
	農業	農業土木 農業農村工学
博士	当該業務に関する学術部門	
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	

(担当技術者)

第1-6条

担当技術者は、設計業務共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1-7条

設計業務共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び設計業務共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とする。

(保険加入)

第1-8条

受注者は、設計業務共通仕様書第1-37条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

第2章 作業条件

(貸与資料等)

第2-1条

貸与資料は、次のとおりである。

分類	貸与資料	数量
業務報告書	令和2年度 筑後川下流右岸農地防災事業 施工技術検討業務	1式
業務報告書	令和3年度 筑後川下流右岸農地防災事業 施工技術検討業務	1式
業務報告書	令和4年度 筑後川下流右岸農地防災事業 施工技術検討業務	1式
業務報告書	令和5年度 筑後川下流右岸農地防災事業 施工技術検討業務	1式
その他	その他必要な資料	1式

(貸与資料の取扱い)

第2-2条

第2-1条に定める貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 貸与資料等で適用条件を選択する必要がある場合や貸与資料以外の基準を適用する場合は、監督職員の指示を受けるものとする。
- (2) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員の請求があった場合のほか完了検査時に一括返納しなければならない
- (3) 貸与資料は、厳重に保管するとともに、複写等の行為は禁止する。

第3章 作業内容

(作業項目及び数量)

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次の作業項目表のとおりである。

なお、詳細は別紙1の作業項目内訳表に示すものとする。

作業項目表

作業項目	数量	備考
I. 資料の検討	1式	
II. 課題分析		
1. 工事実施に伴う振動伝達の調査・検討	1式	
2. 水質調査	1式	
III. 点検とりまとめ	1式	

(設計作業の留意点)

第3-2条

設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりである。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-1条及び共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 第3-1条の作業項目のうちII. 課題分析(1. 工事実施に伴う振動伝達の調査・検討、2. 水質調査)に関しては、高度な専門的知識を有する研究機関・大学等の指導及び助言を受けて遂行するものとする。
- (4) 振動調査は、令和7年度実施工事より1件程度を想定しているが、別途監督職員と協議するものとする。なお、振動測定回数は、現場状況等により変更することがある。
- (5) 水質調査にあたっては、別紙3の工事を想定しており、施工中・水路内工事完了後(それぞれ1回ずつ)にて採水するものとするが、実施時期については、別途監督職員と協議するものとする。

(振動調査の機器仕様について)

第3-3条

振動調査作業の実施に際し、使用する機器仕様は、次を想定している。

- ・計量法 振動レベル計
- ・使用周波数範囲 1Hz～80Hz 程度
- ・使用温度範囲 -10℃～+50℃程度
- ・レベル直線性誤差 ±0.5dB 以内

(業務写真における黒板情報の電子化)

第3－4条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。

黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の(1)から(4)によりこれを実施するものとする。

(1) 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等(以下、「機器等」という。)は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

- ① 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。
- ② 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

- ① 受注者は、(1)の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。
- ② 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。
なお、上記①に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案) 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。
- ③ 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL(<http://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index.html>)のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

第4章 打合せ

(打合せ)

第4-1条

設計業務共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行う。

また、初回及び最終回の打合せには管理技術者が出席するものとする。

初 回 業務着手の段階

第2回 中間打合せ

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、別紙4に記載されている割合を予定価格に乗じて求めた価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

第5章 成果物

(成果物)

第5-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

- (1) 成果物の電子媒体 (CD-R 若しくは DVD-R) 正副2部
- (2) 成果物の出力1部 (電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可)

(開示用成果物の作成及び提出)

第5-2条

第5-1条に記載している成果物 (PDF ファイル) に含まれる、行政機関の保有する情報の公開に関する法律における「不開示情報」に該当する情報について、システムの編集機能により、その箇所を黒塗りにする措置を行い提出しなければならない。

成果物を設計業務共通仕様書第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。
なお、「不開示情報」とは、別紙2のとおりである。

- (1) 開示用成果物の電子媒体 (CD-R 等) 1部

(成果物の提出先)

第5-3条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

佐賀県神埼市千代田町直鳥 166-1

九州農政局筑後川下流右岸農地防災事業所

第6章 契約変更

(契約変更)

第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合
- (2) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合
- (3) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (4) 履行期間の変更が生じた場合
- (5) 関係機関等対外的協議等により設計計画等に変更が生じた場合
- (6) その他

第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

別紙1 【作業項目内訳表】

作業項目	作業内容	作業項目	
		単位	数量
I. 資料の検討			
I-1. 資料の検討	各課題分析のための資料収集及び特別仕様書第2-1条の貸与資料等の内容を把握する。	式	1.0
II. 課題分析			
1. 工事实施に伴う振動伝達の調査・検討			
II-1. 現地調査等			
II-1-1. 現地調査	振動調査を実施する地点の調査を行う。	現場	1.0
II-1-2. 振動調査実施計画書	工事区域内における振動測定の測点や調査時間帯など、詳細実施計画を作成する。	現場	1.0
II-2. 振動計設置・測定			
II-2-1. 現地準備	測定場所にて振動調査のための振動計設置等を行う。	現場	1.0
II-2-2. 現地測定	工事区域にて、ダンプトラック及び地盤改良機等が稼働している日を対象に振動調査を行う。1回の測定期間は1日間とし、1現場にて合計5回、5日間の測定を想定している。なお、施工が行われていない時間帯の測定も行うものとする。 測線数、センサー設置地点数等は以下のとおりとする。 ・測線数：2測線 ・センサー設置地点数：5地点/測線×2測線=10地点 ・振動発生源からの位置：0m、10m、30m、40m、50m ・対象工種：土工（ダンプトラック、バックホウ）、地盤改良工（ロングアームバックホウ）、法面整形（ロングアームバックホウ）、ブロックマット敷設（25t ラフター）を想定している。	日	5.0
II-3. 試験結果の整理・取りまとめ			
II-3-1. 試験結果の整理・取りまとめ	試験結果の整理・取りまとめを行い、一覧表を作成する。	式	1.0
2. 水質調査			
II-2-1. 水質測定	令和7年度工事路線において水質測定を行う。詳細については、別紙3参照。	回	2.0
II-2-2. 影響評価	水質測定結果を用いてクリーク護岸工事に伴うpHのクリーク水質への影響について、評価を行う。	式	1.0
III. 点検とりまとめ			
III-1. 点検とりまとめ	上記の各項目の点検とりまとめ及び報告書の作成を行う。	式	1.0

別紙 2

不開示とする情報	該当項目	該当条項
個人に関する情報及び法人その他団体に関する情報	<p>記述等により特定の個人を識別することができる情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 受注者氏名 ・ 個人及び会社の印影 ・ 各種調査結果に記載された調査員等の氏名 ・ 打合せ議事録等の発注者以外の氏名及び組織名 ・ 函面等に記載された地番、所有者等の氏名、住所等 ・ 顔写真 ・ 技術提案書等の当該法人の知的財産に関する情報 ・ IP アドレス等機器の接続情報 ・ その他（公にすることにより個人、会社の権利利益を害する恐れのある情報） 	<p>行政機関の保有する情報の公開に関する法律第5条第一号及び第二号イ</p>

別紙3【水質測定作業項目】

1. 水質分析項目一覧

分析項目	分析方法	測定方法
(1) 水温	【現地測定】 多項目水質計	工事区間直上下流部の既設橋梁等の上から、多項目測定器による現地測定(水面下0.1m、以下鉛直方向に0.5m間隔、水底上0.1m)
(2) 水素イオン濃度 (pH)		
(3) 電気伝導率 (EC)		
(4) クロロフィル a		
(5) 溶存酸素量 (DO)		

2. 測定場所、測点数及び検体数

測定場所	測点数	個所数		
		1月	3月	計
工事区間直上流	1点/1地点	10	10	20
工事区間下流部	1点/1地点	10	10	20
				40

(調査対象工事)

番号	区分	工事名	工期
1	WTO	南里線(南里工区)水路改修工事	R7.9.16 ~ R10.7.11
2	局契	三日月1号線(金田工区)工事	R7.9.10 ~ R8.3.9
3	局契	三田川線(寄人その2工区)工事	R7.9.17 ~ R8.3.10
4	局契	北茂安3号線(東尾その2工区)工事	R7.10.1 ~ R8.3.10
5	専決	佐賀市東部線(瓦町工区)その1工事	R7.10.15 ~ R8.3.10
6	専決	佐賀市東部線(瓦町工区)その2工事	R7.10.15 ~ R8.3.10
7	専決	兵庫西部1号線(湊その4工区)工事	R7.9.17 ~ R8.3.9
8	専決	東与賀4号線(鹿子その2工区)工事	R7.9.29 ~ R8.3.10
9	専決	芦刈8号線(浜枝川工区)工事	R7.9.17 ~ R8.3.5
10	専決	姉川線(姉川工区)工事	R7.9.29 ~ R8.3.10

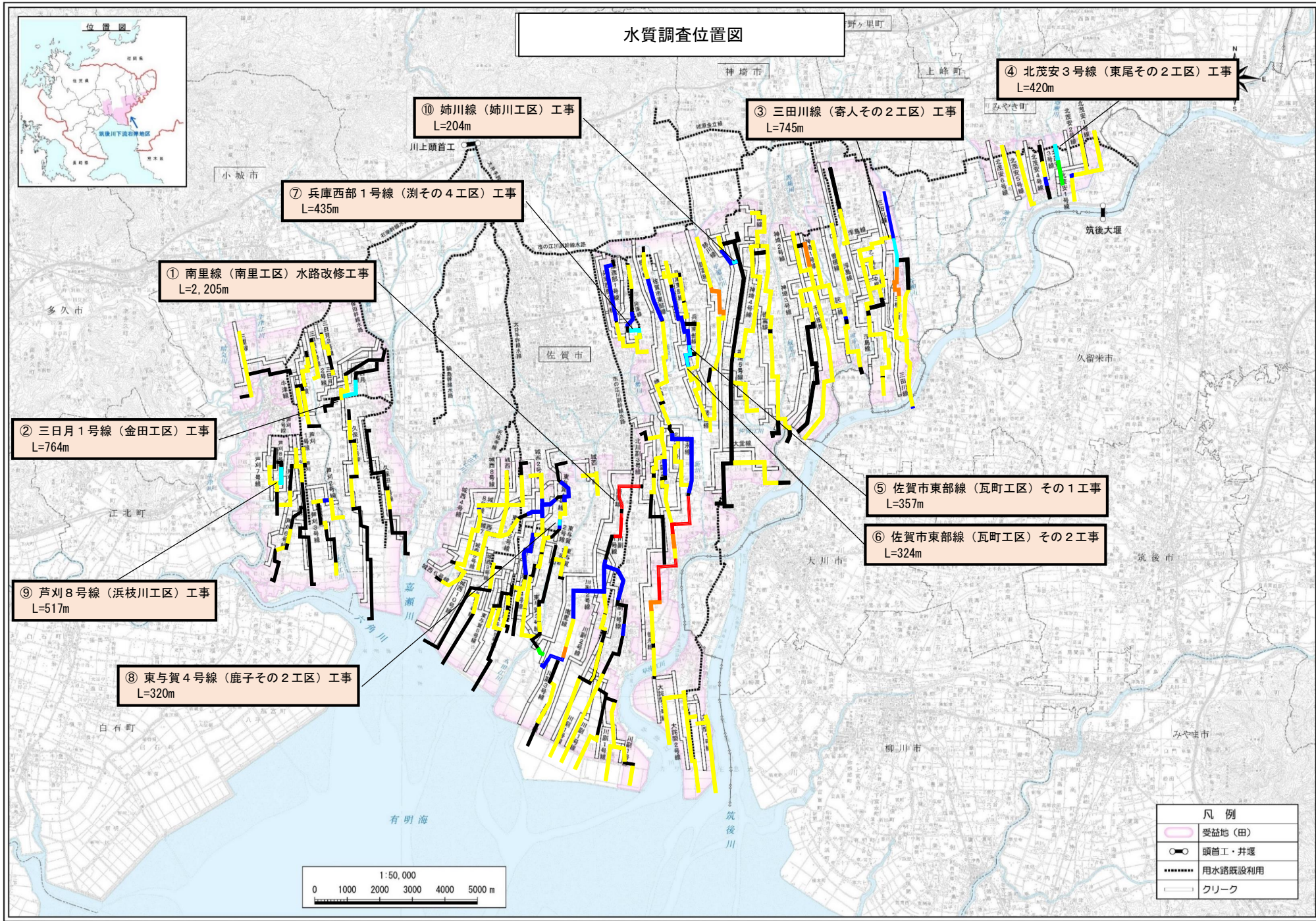
3. 水質測定の実施時期・回数

1月	3月	合計
1回	1回	2回

別紙4（第4－1条関連）

予定価格算出の基礎となった同表A～Dまでに掲げる額の合計額に100分の110を乗じて得た額を予定価格で除して得た割合とする。ただし、その割合が10分の8.1を超える場合にあっては10分の8.1とし、10分の6に満たない場合にあっては10分の6とするものとする。

業種区分	A	B	C	D
建設コンサルタント(土木関係のもの)	直接人件費の額	直接経費の額	その他原価の額に10分の9を乗じて得た額	一般管理費等の額に10分の5を乗じて得た額



この地図は、国土院の承認を得て、1:50,000の縮尺で作成されたものである。（承認番号 平22農後、第531号）